

港区立三田中学校  
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

- ・ 自他を尊重し、共感し合う生徒〔共感〕
- ・ 自ら学び、考え、行動する生徒〔自立〕
- ・ 健康・明朗で礼儀正しい生徒〔礼儀〕

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- 「何事にも主体的に取り組む生徒」の育成をめざす ～授業で生徒との信頼関係をつくる
- ・ 生徒が基礎学力の確実な習得ができるようにきめ細かく丁寧な学習指導に当たり、生徒の主体的な学習を通して一人一人の個性を伸ばし、「学びに向かう力」を涵養する。
  - ・ 基本的な学習習慣、基本的な生活習慣の確立を目指し、定着を図る。
  - ・ 新学習指導要領の趣旨をふまえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教科等横断的な視点で授業改善を活性化していく。

昨年度の成果と課題

- 『授業で生徒との信頼関係をつくる』という学校経営方針に基づき、きめ細かく丁寧な学習指導に当たることができた。生徒の主体的な学習を通して一人一人の個性を伸ばすことができた。
- ・ 生徒の実情に合わせたMITAルールを掲げ、基本的な学習習慣を身に付けさせることができた。
  - ・ すべての教育活動において、MITAキャリア学習を意識した授業を実践させることができ、主体的な進路選択へとつなげることができた。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の読書活動を通して、学習の基礎となる読解力や考える力の育成に努める。</li> <li>○全教科、全学級の時間数を週ごとにチェックし、教科毎の年間授業時数を確保する。（土曜授業日の時間割を活用。）</li> <li>○学習の定着の確認を計画的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の定着の確認や問題解決的な学習を計画的に実施する。</li> <li>○個に応じた指導を充実させるため、英語・数学で習熟度別少人数指導を実施する。</li> <li>☆「主体的・対話的で深い学び」を各教科ごとに展開する。</li> <li>▲体育科の授業を中心に、オリンピック・パラリンピックを意識した取り組みを活性化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒、保護者に対して年度当初に評価説明会を実施する。また、折に触れて、評価に関しては丁寧に対応していく。</li> <li>○適正な評価計画を作成し、その計画に基づいて適切な評価を実施する。</li> <li>○生徒による授業評価を実施し、授業改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部機関との連携やソーシャルスキルトレーニングといった諸活動を計画的に実施する。</li> <li>○年間4回授業&amp;生活アンケートを行い、MITAルールに基づくPDCAサイクルを活用して集団としての改善を図る。</li> <li>☆「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために、各教科での研修を行う。また、教科横断的な学習を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページを充実させ、学校日より、学年日より、進路通信等を定期的に発行し、学校の様子を広く知らせる。</li> <li>○学校評議員、保護者による学校関係者評価を実施する。</li> <li>○三田アカデミーを中心に、近隣の幼・小との連携を図る。</li> <li>○地区委員会共催事業へ参加、協力する。</li> </ul>

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>○始業前の10分間を全校読書の時間に設定し、全教員も参加し朝読書に取り組ませる。</li> <li>○各教科の学期ごとの予定時数を定め、3学期までの見通しを立てて時間割を調整する。</li> <li>○週ごとに学級、教科ごとの実施授業時数を把握し、過不足を土曜日や教員間の持ち時間で解消させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○MITAルールをもとに授業規律を全校体制で確立させるために、教室前方にMITAルールを掲示する。</li> <li>○少人数指導の利点を生かすのはもちろんのこと、全職員で生徒一人一人のつまずきや理解度・定着度を把握し、個に応じた指導を充実させる。</li> <li>▲体育をはじめ、各教科・領域を通してオリンピック・パラリンピックを意識した授業や活動を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月中旬に生徒対象評価説明会を実施し、授業の受け方や評価についての理解を図る。</li> <li>○常に1時間の授業の指導目標と、それにつながる評価を明確にし、評価の適正な実施を図る。</li> <li>○11月上旬に、生徒による教員一人一人に対する授業評価を実施し、分析結果を基に、早期の授業改善に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア団体、他の外部機関と連携しながらキャリア教育を推進していく。SST、ASTといった諸活動を計画的に実施する。</li> <li>○MITAルールに基づくアンケートを行い、学級ごとに集計し、PDCAサイクルを活用して集団としての改善を図る。</li> <li>☆学校の教育目標と関連づけた「主体的・対話的で深い学び」を展開させるための研修を、年間7回行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的なホームページの更新を行い、日々の学校生活を中心とした情報をタイムリーに発信する。</li> <li>○毎学期に授業公開を実施する。また、年3回学校評議員会を実施する。</li> <li>○「三田中オープンキャンパス」を年2回実施する。</li> <li>○PTA共催によるもちつき大会、道徳授業地区公開講座を実施する。</li> </ul>
---	--	--	--	--

☆→今年度からの取組

○→定着・継続している取組

▲→活性化が必要な取組